

令和6年度 特別展

# 安川亀

金剛砂王

安川亀太郎翁没後100年顕彰特別展  
Kametaro Yasukawa achievements

# 太郎の功績

金剛砂産業の近代化への歩み



2024  
11/16 sat  
▽  
2025  
1/26 sun



香芝市の創造・プロモーション  
香芝市二上山博物館  
— Nijyosan Museum —

# Kametarō Yasukawa achievements



金剛砂卸商業組合事務所

香芝市の地場産業の一つに金剛砂産業があります。金剛砂は石榴石とも言い、鉱物としては1月の誕生石であるガーネットの名前で呼ばれます。千数百万年前の二上山の活発な火山活動により形成された石切場火山岩などに捕獲岩として含まれますが、これらの火成岩が長い年月をかけ風化し、河川などに流出し低地に堆積したものが金剛砂です。二上山産金剛砂は、鉄分が多い鉄礫ザクロ石で、硬度が6.5～7.5(ダイヤモンドが10)と非常に硬いことから、古代から研磨材として利用されてきた歴史があります。二上山麓で金剛砂が産業として本格的に採掘されるのは、明治20年(1887)頃からで、大正10年(1921)には、大和金剛砂株式会社が設立され、後に金剛砂商工業協同組合(1950～2017)へと発展します。その金剛砂の販路を早期に開拓したのが、当地出身の安川亀太郎氏です。

「安川亀太郎翁像」の銅板銘には、「穏やかな誠実な人で、多くの人から慕われていた。早くから金剛砂の価値を見出し、採掘を行って、販売の為東奔西走された。苦心の経営により、日本の特産品として知れわたり、その功績は多大なものがあつた。今同業の者幾千人は金剛砂王と呼ぶ(以下略)」とあります。

亀太郎氏らによって、金剛砂が近代的産業の地位まで押し上げられましたが、その経営手腕だけでなく、当地と近隣の村々に住む人びとの生計の安定をもたらした功績などが高く評価されます。



出荷待ちの金剛砂



安川亀太郎氏は、大正14年(1925)1月26日に亡くなり、令和7年が没後100年となります。本特別展では同氏の功績と金剛砂産業の近代化に向けた歩みを考えたいと企画しました。

### 開館時間

9時～17時(入館は16時30分まで)

### 会場

香芝市二上山博物館・特別展示室

### 休館日

毎週月曜日  
但し、1月13日は開館し、翌14日が振替休館  
年始年末(12月28日～1月4日)

### 主催

香芝市教育委員会  
香芝みらい創造プロジェクト  
(香芝市二上山博物館指定管理者)

### 観覧料 特別料金

一般 350円(300円)、高・大学生 200円(150円)  
小・中学生 150円(100円)(未就学児は無料)  
※( )内は20名以上の団体割引料金  
※会期中、関西文化の日(11/16・17)は終日無料入館となります。

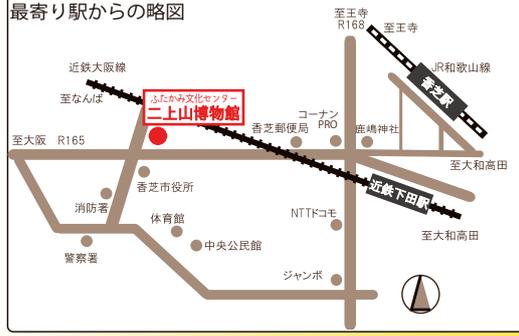
### アクセス

- 電車でお越しの方  
近鉄下田駅下車→西へ約600m [徒歩約8分]  
JR香芝駅下車→西へ約800m [徒歩約12分]
  - お車でお越しの方  
西名阪自動車道  
香芝インターチェンジ→南へ約2.8km [約15分]
- ※駐車場有、満車の場合は向かいの市役所南側に駐車ください(無料)



香芝市二上山博物館  
LINE公式アカウント @425idbpx

随時イベントなどの情報を配信いたします。



香芝みらい創造プロジェクト  
**香芝市二上山博物館**  
Nijyosan Museum  
〒639-0243 奈良県香芝市藤山1丁目17-17 ふたかみ文化センター1F  
TEL 0745-77-1700 FAX 0745-77-1601  
Mail: infomuseum@kashiba-mirai.com  
URL: http://kashiba-mirai.com/

## 特別展記念講演会

special exhibion memorial speech

演題

金剛砂王  
安川亀太郎の功績

2025

1月26日(日)

### 会場

香芝市文化施設 ふたかみ文化センター  
2階・第1～3会議室

### 講師

奥田 昇

香芝市教育委員会事務局  
教育部まなび推進局文化財課

### 時間

午後2時～午後3時30分  
(開場 午後1時30分)

### 定員

80名(先着順、事前申込み必要)  
無料

◆11月12日(火) am9:00 から受付開始

博物館受付・お電話・QRコードにてお申込み下さい。



表面写真 安川亀太郎像 『河内名所図会』